

第2回 瀬戸内研究シンポジウム



定着型産業の育成と
地域社会の持続性の課題
―農業を事例として―

2023年

1/18

15:00
17:00

オンライン開催 / 参加無料

申込方法: URLかQRコードよりお申し込みください。
<https://forms.gle/qyvtCLxp6jMNY3b6>

グローバル化が進展することによって地域社会は従来を継承して他の地域社会と差別・異質につなげることが困難になり、人、モノ、カネ、情報およびそれらを取り囲む空間の移動性が極めて高くなった。その一方、在来の慣習や文化、産業・活動する地域も絶えてきている。従って既存の1本のみで支えられてきた地域社会の持続性も危ぶられている。都市型産業の生産者や一人農耕・経営者等が持続性があるが、困難にいつまでも耐える地域に暮らす人びとを救済している。それに対して地域社会の持続性や発展を促進・強化し、それを地域社会再生の中心とすることが課題解決の唯一のソリューションとして考えられる。今回は定着型産業として農業を選び、また地域社会として農村社会を対象として、定着型産業の育成と地域社会の持続性の課題について、農業専門家、地方自治体職員から講演・ディスカッションを議論する。



農業を活用した地域活性化の可能性
— 労働人口の増加に向けて —
轟田 久 岡山大学 グローバル人材育成院 准教授



企業との連携によるコミュニティ・エネルギーの形成
— 島根県内の小水力発電を事例に —
本田 悠子 岡山大学 環境生命科学学域 准教授

ファシリテーター: 津野 貴之 岡山大学 社会文化科学研究域 文明論学研究所 教授

岡山大学 文明論学研究所
JST 1/18 瀬戸内研究シンポジウム
地域農村経済学センター

岡山大学 文明論学研究所 (RIOC)
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島 3-1-1 TEL: 086-251-7843
RIOC E-mail: rioc@okayama-u.ac.jp URL: rioc.okayama-u.ac.jp

086-251-7442

086-251-8463
